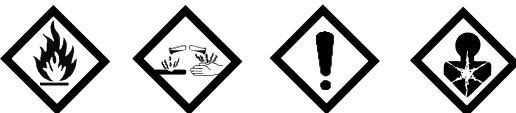


安全データシート

作成日 : 2017年2月23日

1 製品及び会社情報	
製品の名称	オートンシールドライヤー
推奨用途及び使用上の制限	シーリング材硬化促進剤 (エアゾール製品)
会社名	オート化学工業株式会社
住所	東京都台東区上野5-8-5
電話番号	03-5812-7310
緊急連絡先	生産本部 環境品質保証部 029-831-0913 (ファックス番号 029-831-0923)

2 危険有害性の要約			
重要な危険有害性及び影響	物理化学的危険性	極めて引火性の高いエアゾール	
	健康有害性	皮膚、眼に刺激あり。吸入すると有害。	
GHS分類	物理化学的危険性	エアゾール	区分1
	健康有害性	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分1
		眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分1
		生殖毒性	区分2
		特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分1,3
		特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分1,2
	環境有害性	非該当	
※上記で記載が無い危険有害性は、区分に該当しない。			
GHSラベル要素	絵表示		
	注意喚起語	危険	
	危険有害性情報	<p>極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール。 高圧容器：熱すると破裂のおそれ。 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。 重篤な眼の損傷。 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。 臓器 (中枢神経系、全身毒性) の障害。 呼吸器への刺激のおそれ。 眠気又はめまいのおそれ。 長期にわたる、又は反復暴露による臓器 (血液系) の障害。 長期にわたる、又は反復暴露による臓器 (呼吸器系、肝臓、脾臓) の障害のおそれ。</p>	

注意書き	<p>全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 熱、火花、裸火、高温付近での作業をしないこと。 作業の際は保護手袋、保護眼鏡を着用すること。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用し蒸気の吸入をしないこと。 万一飲み込んだ場合は直ちに医師の診断を受けること。 誤って眼に入った場合や皮膚に付着した場合は直ちに清水で十分水洗いをする。異常がある場合は医師の診断を受けること。 子供の手の届かない所に保管すること。 火災の場合は適切な消火方法をとること。 内容物/容器を廃棄する時は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。</p>
------	--

3 組成及び成分情報				
単一製品・混合物	混合物			
危険有害成分 (危険有害不純物)	イソプロピルアルコール(IPA と略)			
組 成	化学名又は 一般名	濃度範囲 (wt%)	CAS 番号	官報公示整理 番号(化審法)
	イソプロピルアルコール	65～75	67-63-0	2-207
	有機酸	1～10	登録	既存
	プロパン	20～30	74-98-6	2-3

4 応急措置	
吸入した場合	被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。呼吸が止まっている場合及び呼吸が弱い場合は、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で人口呼吸を行なう。保温、安静を保ち、速やかに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	汚れた衣類を脱ぎ、多量の水で洗い流す。皮触に炎症を生じた時は、医師の手当てを受ける。
目に入った場合	清浄な水で最低 15 分間眼を洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受ける。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。コンタクト着用の場合、容易に外せる場合は、外してまぶたの裏まで完全に洗浄する。
飲み込んだ場合	水で口の中を清浄にし、直ちに医師の手当てを受ける。

5 火災時の措置	
消火剤	炭酸ガス・泡・粉末・乾燥砂
特有の危険有害性	火災によって刺激性で有毒なガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	可燃性のものを周囲から、速やかに取り除くこと。
消火を行う者の保護	適切な保護具（防護マスク等）を使用し風上から消火する。

6 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には、適切な保護具（手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル）を着用する。
環境に対する注意事項	本製品を環境中（水域、土壌）に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	回収、中和：乾燥砂、土、その他不燃性のものに吸着、又はウエス等で拭き取り、密閉容器に回収する。 二次災害の防止策：漏出付近にロープを張って関係者以外の立ち入りを禁止する。また、火気厳禁の処置をとる。

7 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	<p>技術的対策：周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 静電気対策のために、装置、機器等の接地を確実に行う。 電気機器類は防爆型（安全構造）のものを用いる。 工具は火花防止型のものを用いる。 局所排気を行い、換気の良い場所で取扱う。</p> <p>安全取扱注意事項：容器はその都度密閉する。皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用する。</p> <p>接触回避：強酸化剤、強塩基と混合接触させてはならない。</p> <p>その他：裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。 使用後を含め、容器に穴を開けたり燃やしたりしないこと。</p>
保管	<p>安全な保管条件：火気、熱源から遠ざけて保管する。 湿気を避けて直射日光が当たらない通風の良い屋内貯蔵所に保管する。子供の手の届かない所に保管する。</p> <p>混触禁止物質：酸化性物質、強塩基と同一場所に置かない。</p> <p>安全な容器包装材料：移し変えてはならない。</p>

8 ばく露防止及び保護措置	
許容濃度	IPA：400ppm（日本産業衛生学会勧告値）（原料メーカー SDS：2016/4/4 による） 有機酸：設定されていない プロパン：設定されていない
設備対策	火気厳禁の措置をとる。 排気の為の装置を設置する。
保護具	呼吸器の保護具：有機ガス用防毒マスクを着用。 手の保護具：保護手袋を着用する。 目の保護具：保護眼鏡を着用する。 皮膚及び身体の保護具：有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の保護具を着用する。

9 物理的及び化学的性質	
外観	物理的状态：気体 / 色：無色透明（プロパンを除いた原液）
臭い	特異臭

沸点, 初留点及び 沸騰範囲	I P A : 82°C (プロパンを除いた原液)
引火点	12°C (プロパンを除いた原液)
密 度	0.79/25°C (プロパンを除いた原液)
溶解度	I P A ・ 有機酸 : 水に任意の割合で溶ける
n-オクタノール/ 水分配係数	有機酸 : $\log \text{Pow} = -0.6$
自然発火温度	I P A : 399°C

10 安定性及び反応性

反応性	通常の使用では危険な反応はない。
化学的安定性	通常の手扱いは安定。
避けるべき条件	熱、火花、裸火、高温、静電放電および衝撃又は混触危険物質との接触により、引火し火災の危険性をもたらす。
混触危険物質	強酸化剤、強アルカリ
危険有害な分解 生成物	一酸化炭素、二酸化炭素

11 有害性情報

急性毒性	I P A : LD ₅₀ (経口) ラット 5280mg/kg : LD ₅₀ (経皮) ウサギ 12870mg/kg : LC ₅₀ (吸入) ラット 16000ppm/8h 有機酸 : LD ₅₀ (経口) ラット 3730mg/kg
皮膚腐食性及び 皮膚刺激性	I P A : ウサギを用いた皮膚刺激性試験で刺激性なし、又は軽度の刺激性の報告がある。ヒトでのボランティア及びアルコール中毒患者の治療のため皮膚適用した試験では刺激性を示さない。EHC103(1990) 有機酸 : 重篤な皮膚の腐食性を示す。
眼に対する重篤な 損傷性又は眼刺激性	I P A : ウサギでの眼刺激性試験では軽度から重度の刺激性の報告はあるが、重篤な損傷性は記載されていない。 EHC103(1990), PATTY(6th, 2012) 有機酸 : 重篤な眼の損傷性を示す。
呼吸器感作性又は 皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	I P A : IARC71 (1999) でグループ 3、ACGIH (7th, 2001) で A4 に分類されている。
生殖毒性	I P A : ラットの経口投与による2世代試験では親動物に一般毒性影響(肝臓及び腎臓の組織変化を伴う重量増加)が認められる用量で雄親動物に交尾率の低下、児動物には生後に体重の低値及び死亡率の増加が見られた。 PATTY(6th, 2012), SIDS (2002)

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	I P A : ヒトで急性中毒として中枢神経抑制 (嗜眠、昏睡、呼吸抑制など)、消化管への刺激性 (吐き気、嘔吐)、血圧、体温低下、不整脈など循環器系への影響を含み、全身的に有害影響を生じる。また吸入ばく露により、鼻、喉への刺激性 (咳、咽頭痛) を示す。EHC103(1990)、環境省リスク評価第6巻 (2005)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	I P A : ラットに本物質の蒸気を4ヶ月間吸入ばく露試験で、100mg/m ³ 以上で白血球数の減少が見られ、500mg/m ³ 群では呼吸器 (肺、気管支)、肝臓、脾臓に病理学的な影響が認められた。EHC103(1990)
吸引性呼吸器 有害性	データなし

12 環境影響情報

生態毒性	I P A : LC50(96hr) 魚類 (メダカ) >100mg/L (環境庁生態影響試験 1997)
残留性・分解性	I P A : 急速分解性あり。 有機酸 : 分解性良好。
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
ワゴン層への有害性	モントリオール議定書に記載されている物質の使用はない。

13 廃棄上の注意

- ・ 廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。
- ・ 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さない。
- ・ 排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法律に従って処理を行うか、専門業者に処理を委託する。
- ・ 廃棄物の種類 : 内容物 (液体) : 燃えやすい廃油 (特別管理産業廃棄物)
金属容器 (噴射させて内容物を完全に除去したもの)
: 金属くず (安定型産業廃棄物)
キャップ : 廃プラスチック類 (安定型産業廃棄物)

14 輸送上の注意

国連番号	1 9 5 0
品名 (国連輸送名)	エアゾール
国連分類	2 - 1 (高压ガス・引火性)
容器等級	—
海洋汚染物質	非該当
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令の輸送について定めるところに従う。
海上輸送	船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送	航空法に定めるところに従う。

15 適用法令

- ・ 消防法：危険物第4類アルコール類、危険等級II
- ・ 危険物船舶輸送及び貯蔵規則：高圧ガス・引火性のもの（クラス2.1）
- ・ 化審法：優先評価化学物質（イソプロピルアルコール）
- ・ 有機溶剤中毒予防規則：第2種有機溶剤（イソプロピルアルコール）
- ・ 労安法：表示・通知義務対象物質（イソプロピルアルコール）
- ・ PRTR法：非該当
- ・ 毒物及び劇物取締法：非該当
- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従う。

16 その他の情報

出典	原料メーカーのSDS NITEのGHS分類結果データベース
その他	ホルムアルデヒドの発生、及び石綿の使用は無い。

【注意】

- ・ 記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。尚、新しい知見により改訂されることがあります。
- ・ 注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。特別な取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。また、本製品を本来の用途以外に使用しないで下さい。